

1 都道府県・市区町村名	静岡県静岡市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	静岡市の文化遺産を活かした地域活性化事業	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 27 年度 ～ 平成 32 年度		

5 実施計画の概要

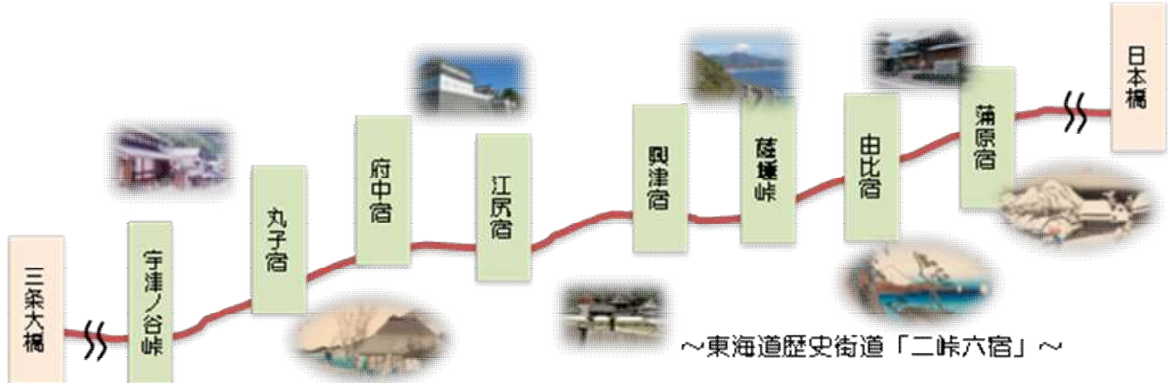
<静岡市の概況と取巻く社会環境>

静岡市は、静岡県の中中部地域に位置し、旧静岡市、清水市、由比町、蒲原町の合併により誕生した政令指定都市で、総人口は70万人を超えております。また、南アルプスユネスコエコパークの3,000メートル級の山々から、最深部では水深2,500メートルに達する駿河湾など、多彩な自然と生態系を有する地域です。



古来、本市には、これらの豊かな自然に彩られた生活が形成され、縄文時代の登呂（登呂遺跡）をはじめとした人々の交流による歴史文化が蓄積してきたものです。

そして本市の礎が築かれた今川時代や徳川時代、特に徳川家康公が「駿府城」で大御所政治を担った時代には、国内有数の職人が「駿府」に集まり、「駿府城」の築造や「久能山東照宮」、「静岡浅間神社」などの造営が行われたのちに、職人たちが「駿府」に定住し、最高技術による工芸品を作ることとなり、現在の本市の伝統産業に繋がっております。東海道沿線では、参勤交代の際、多くの大名が徳川家康公を祀る久能山東照宮へ参拝したことにより、宿場町の住民との交流が生まれ、多くの文化が花開き現在につながっているものです。



しかしながら、現在、我が国の急速な人口減少と同じく、本市も人口減少や少子高齢化の進展に直面しているとともに、大御所時代によって花開いた歴史文化の継承や観光分野についても、伊豆箱根広域観光圏（東部と神奈川県）に観光客や宿泊客の大半が集中しており、歴史文化の継承の活動維持や地域活性化の担い手育成は、深刻な課題と捉えております。

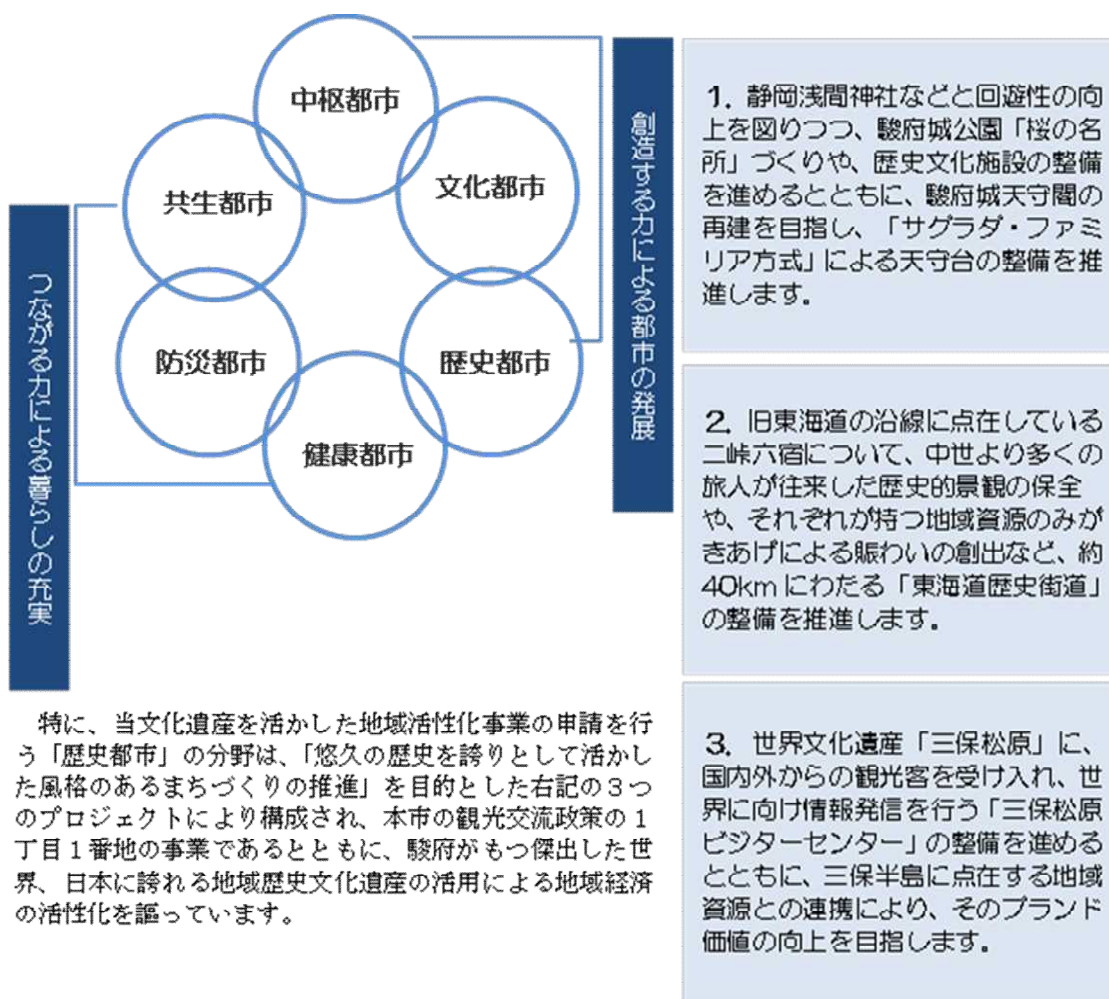
本市はこれらの深刻な課題に向き合うとともに、「悠久の歴史を誇りとして活かした風格のあるまちづくり」を推進することで、「世界に輝く静岡」の実現を図るため、次の中長期計画を策定しました。

<静岡市の中長期計画の概要>

平成27年度から平成34年度までの8年間を計画期間とした第3次総合計画を平成27年度に定め、本市の目標人口である平成37年に「70万人」の維持、基本構想に「世界に輝く静岡」の実現を掲げるとともに、その目指すべき都市像を以下の2つとしています。



また、これらの実現に向けて取り組むべき施策を次の6つの重点プロジェクトとして位置づけています。



<本申請の位置づけと趣旨>

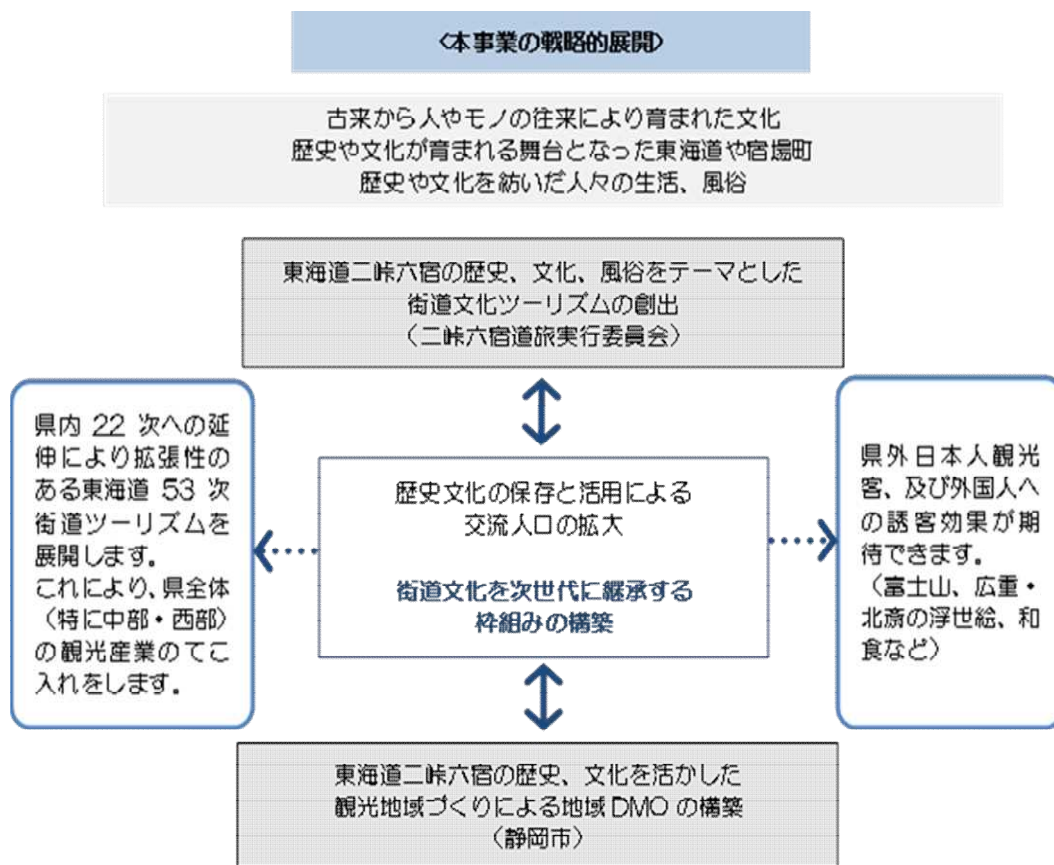
折しも平成27年度は、第3次総合計画のスタートであるとともに、「徳川家康公没後400年」に当たる年であり、市民や民間事業者、行政が家康公の偉業や功績を尊ぶイベントを実施し、その集大成たる9月の「すんぷ天下泰平まつり」では、延べ60万人にも及ぶ来訪者が、家康公の歴史に親しみ触れることとなりました。

本市はこのイベントを「400+」（始まりのはじまり）と位置づけ、次世代に家康公をはじめとする本市の誇らしい歴史や文化を継承し、さらなる発展を遂げ、100年、200年先の静岡市民が誇ることができる「歴史都市」となるべく、歴史文化を活かした地域活性化に望むものです。

その大きな目的意識の下、家康公四百年祭を通して結集した官民共同の推進体制をより強固なものとするともに、当補助金を活用した質の高い事業実施と文化遺産継承を継続させていく必要があると考えます。

本年度につきましても当補助金を申請し、文化財を活かした観光誘客による地域活性化を図るとともに、民間事業者と地域住民の共同体制を強固なものとし、持続可能な文化財の保存・継承のプラットフォーム構築を目指していく所存です。

～東海道（二峠六宿）街道ツーリズム推進スキーム～



<本申請事業への取組み方向>

本申請による趣旨は、東海道二峠六宿に紡がれた歴史や文化の価値を次世代に継承する枠組みの構築であり、市は観光地域づくりにより、地域住民主体の内側からの枠組みを構築し、実行委員会はその民活（文化団体、商工観光団体、メディア等）のネットワークを最大限に活用した外側からの枠組みを構築していくものです。

また、構築する枠組みの形骸化を防ぎ、持続可能なものとするため、これらの歴史や文化を活用した観光プログラムを自らが立案し、交流人口を拡大させ、地域経済の活力を維持していくものでもあります。

<平成27～32年度文化遺産を活用した地域活性化事業の事業体系>

承 東
す 海
ま 道
ち 二
み 峠
が 六
き 宿
の 街
発 道
信 文
化
ツ
ー
リ
ズ
ム
推
進
及
び
次
世
代
に
継

1 情報発信事業

- ・ワクワク旅アプリの予備的検討 (H27)
- ・二峠六宿PR誌作成のための編集企画 (H27)
- ・二峠六宿ブランディング (マップ及び案内板設置) (H28)

- ・文化遺産を活かした情報発信事業
(1) 映像、パンフレット、パネル製作 (H29～)

継続

- ・文化遺産を活かした情報発信事業
(2) モバイルアプリ作成 (H30～)

継続

2 人材育成事業

- (3) 二峠六宿語り部ガイドの育成・実習 (H27～)

継続

3 普及啓発事業

- ・街道文化を継承するシンポジウム等の開催 (H27、H28)
- ・家康公顕彰四百年祭連携シンポジウム (H27)
- ・浮世絵と街道文化を考える車座ミーティング (H28)

- (4) 朝鮮通信使認知度アップ事業 (H29～)

継続

- (5) 二峠六宿ウォーキングイベントの開催 (H28～)
- ・飛脚トレッキング (日本平・H28)
- ・峠路てくてくトレッキング (宇津ノ谷峠・H29)
- ・歴史発見トレッキング (さった峠・H30)
- ・蔦の細道てくてくトレッキング (蔦の細道・H31)

継続

- (6) 「駿府九十六カ町」町名継承事業 (H31)

4 継承

- ・静岡浅間神社廿日会祭に係る山車修理と公開 (H27)

5 記録作成・調査研究

- ・霊山寺関連歴史資料調査 (H27)
- ・二峠六宿に係る古地図・古文書の収集 (H28、H29)

6 実施体制

(平成27年度)

・本事業は静岡市第3次総合計画の実施事業及び徳川家康公四百年顕彰記念事業の一環として位置づけ、静岡市は支援協力及び関連団体や他関連公共施設等の調整を行う。

<主な担当課>

静岡市 文化財課 及び 観光・シティプロモーション課、葵区地域総務課が連携して庁内調整を実施する。

- ・文化財課：文化財の取扱いに関する指導、文化財関連事業実施にあたっての連携。
- ・観光・シティプロモーション課：実施団体との連絡調整、観光及びシティプロモーションに関する連携、事業効果の検証。
- ・葵区地域総務課：文化遺産を活かした地域振興に関する連携。

・事業の実施については次の団体が実施する。

「二峠六宿道旅推進実行委員会」

「⑤実施計画の概要」における施策事業の全てを実施。

※但し、前述の6と7の事業については、構成団体のうち駿府脚振興会及び霊山寺仁王門保存顕彰会が分科会をもって実施する。

<構成団体>

- ・徳川みらい学会
- ・一般社団法人日本文化デザインフォーラム
- ・公益財団法人静岡市文化振興財団
- ・公益財団法人静岡観光コンベンション協会
- ・NPO駿府ウェイブ
- ・静岡二峠六宿街道観光協議会
- ・静岡新聞社・静岡放送
- ・駿府脚振興会及び霊山寺仁王門保存顕彰会

<有識者>

- ・中村羊一郎（静岡産業大学総合研究所主任研究員）
- ・志田 威（東海道57次・中仙道67次交流館）
- ・小和田 哲男（静岡大学名誉教授）※予定
- ・磯田 道史（静岡文化芸術大学教授）※予定
- ・谷 和美（静岡産業大学特任教授）

<事務局長>

- ・泊 三夫

<オブザーバー>

- ・静岡市
- ・静岡県 ※予定

(平成28年度)

・本事業は静岡市第3次総合計画の実施事業の一環として位置づけ、静岡市は支援協力及び関連団体や他関連公共施設等の調整を行う。

<主な担当課>

静岡市 観光交流文化局 観光交流課 及び 歴史文化課 が連携して庁内調整を実施する。

- ・観光交流課：事業実施における各種調整支援、観光振興事業実施あたっての連携
 - ・歴史文化課：文化財の取扱いに関する指導、文化財関連事業実施にあたっての連携
- ・事業の実施については次の団体が実施する。
「二峠六宿道旅推進実行委員会」
「⑤実施計画の概要」における施策事業の全てを実施。

<構成団体>

- ・NPO法人徳川みらい学会
- ・静岡商工会議所
- ・公益財団法人静岡市文化振興財団
- ・公益財団法人静岡観光コンベンション協会
- ・駿府ウェイブ
- ・静岡二峠六宿街道観光協議会
- ・株式会社静岡新聞社
- ・株式会社静岡鉄道

<有識者>

- ・田中 孝治 (NPO法人日本風景街道コミュニティ理事)
- ・中村羊一郎 (静岡産業大学総合研究所主任研究員)
- ・志田 威 (東海道57次・中仙道67次交流館)

<オブザーバー>

- ・静岡市

(平成29年度)

本事業は静岡市第3次総合計画の実施事業の一環として位置づけ、静岡市は支援協力及び関連団体や他関連公共施設等の調整を行う。

<主な担当課>

静岡市 観光交流文化局 観光交流課 及び 文化財課 が連携して庁内調整を実施する。

- ・観光交流課：事業実施における各種調整支援、観光振興事業実施あたっての連携
 - ・文化財課：文化財の取扱いに関する指導、文化財関連事業実施にあたっての連携
- ・事業の実施については次の団体が実施する。
「二峠六宿道旅推進実行委員会」
「⑤実施計画の概要」における施策事業の全てを実施。

<構成団体>

- ・NPO法人徳川みらい学会
- ・静岡商工会議所
- ・公益財団法人静岡市文化振興財団
- ・公益財団法人静岡観光コンベンション協会
- ・駿府ウェイブ
- ・静岡二峠六宿街道観光協議会
- ・株式会社静岡新聞社
- ・株式会社静岡鉄道
- ・東海道57次・中仙道67次交流館

<有識者>

- ・田中 孝治 (NPO法人日本風景街道コミュニティ理事)
- ・中村羊一郎 (静岡産業大学総合研究所主任研究員)

<オブザーバー>

- ・静岡市

(平成30年度)

本事業は静岡市第3次総合計画の実施事業の一環として位置づけ、静岡市は支援協力及び関連団体や他関連公共施設等の調整を行う。

<主な担当課>

静岡市 観光交流文化局 観光・国際交流課 及び 文化財課 が連携して庁内調整を実施する。

- ・観光・国際交流課：事業実施における各種調整支援、観光振興事業実施あたっての連携
- ・文化財課：文化財の取扱いに関する指導、文化財関連事業実施にあたっての連携

- ・事業の実施については次の団体が実施する。

「二峠六宿道旅推進実行委員会」

「⑤実施計画の概要」における施策事業の全てを実施。

<構成団体>

- ・NPO法人徳川みらい学会
- ・静岡商工会議所
- ・公益財団法人静岡市文化振興財団
- ・公益財団法人するが企画観光局
- ・駿府ウェイブ
- ・静岡二峠六宿街道観光協議会
- ・東海道町民生活歴史館

<有識者>

- ・田中 孝治

(NPO法人日本風景街道コミュニティ理事)

- ・中村羊一郎

(静岡産業大学総合研究所主任研究員)

<オブザーバー>

- ・静岡市

(平成31年度)

本事業は静岡市第3次総合計画の実施事業の一環として位置づけ、静岡市は支援協力及び関連団体や他関連公共施設等の調整を行う。

<主な担当課>

静岡市 観光交流文化局 観光・国際交流課 及び 文化財課 が連携して庁内調整を実施する。

- ・観光・国際交流課：事業実施における各種調整支援、観光振興事業実施あたっての連携
- ・文化財課：文化財の取扱いに関する指導、文化財関連事業実施にあたっての連携

- ・事業の実施については次の団体が実施する。

「二峠六宿道旅推進実行委員会」

「⑤実施計画の概要」における施策事業の全てを実施。

<構成団体>

- ・NPO法人徳川みらい学会
- ・静岡商工会議所
- ・公益財団法人静岡市文化振興財団
- ・公益財団法人するが企画観光局
- ・駿府ウェイブ
- ・静岡二峠六宿街道観光協議会
- ・東海道町民生活歴史館

<有識者>

- ・田中 孝治

(NPO法人日本風景街道コミュニティ理事)

- ・中村羊一郎

(静岡産業大学総合研究所主任研究員)

<オブザーバー>

- ・静岡市

7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 70,598 千円	平成31年度申請額： 22,632 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>当事業を導入することにより、静岡市を中心とした地域に、下記の効果が期待できます。</p> <p>(1) 歴史・文化を活かした地域活性化のための気運醸成 ⇒地域内における貴重な歴史資源について、各事業を通じて意識醸成を図ることにより、歴史あるまちを誇りに思う市民の増加へとつなげる。</p> <p>(2) 持続可能な文化財の保存・継承活動のための人材育成 ⇒市民の文化財への関心を高めることを通じて、市民レベルでの文化財保存・継承およびそれを紹介する活動を実施できる人材を確保し、長期的に文化財を活用できる基盤を整える。</p> <p>(3) 文化財を活用した観光誘客による地域活性化 ⇒東海道二峠六宿の歴史資源をテーマとした観光プログラムの造成や、受入環境の整備を通じて、当地域における観光客の増加を図り、地域活性化へとつなげる。</p> <p>2. 効果の測定方法</p> <p>(1) 歴史や文化を身近に感じることができるまちだと思ふ市民の割合（資料：第3次静岡市総合計画） 現状値（H26）：63.8%⇒目標値（H32）：71.3%</p> <p>(2) 地域の文化遺産における定点ガイド利用件数（資料：静岡案内人駿府ウェイブ実績） 現状値（H28）：33,500人⇒目標値（H32）：37,700人</p> <p>(3) 関連施設・イベント入込客数（歴史に触れ親しむ観光振興）の増加（資料：第3次静岡市総合計画） 現状値（H22～25の平均）：2,116千人⇒目標値（H32）：2,436千人</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	東海道歴史街道まち歩き推進事業（市自主財源）		
事業概要：	各宿場まつり等支援事業（市自主財源）		
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
現時点では「歴史文化基本構想」、「歴史的風致維持向上計画」ともに計画の見込はないが、将来的に策定・作成に向けて取り組みたいと考えている。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	静岡市観光交流文化局観光・国際交流課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 1 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	歴史や文化を身近に感じることができるまちだと思 市民の割合	関連事業:		①、②、④、⑤		
目標値 1 :	【現状値】 平成 26 年度 63.8 % ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 71.3 %					
設定根拠 1 :	『第 3 次静岡市総合計画』の指標をもとに、平成26年度から平成34年度までの一年ごとの増加 目標である1.25%を参考に設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
64.3 %	61.5 %	63 %	%	%	%	
7%	-31%	-16%				
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	地域の文化遺産における定点ガイドの利用件数	関連事業:		③		
目標値 2 :	【現状値】 平成 28 年度 33,500 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 37,700 人					
設定根拠 2 :	観光ボランティアガイド「駿府ウェイブ」の平成28年度定点ガイド利用件数を基準に、前年度 比3%増/年として目標設定。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
33,500 人	35,716 人	人	人	人	人	
0%	53%					
目標区分 3 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 3 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	関連施設・イベント入込客数 (歴史に触れ親しむ観光振興)	関連事業:		①、②、④、⑤		
目標値 3 :	【現状値】 平成 26 年度 2,116 千人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 2,436 千人					
設定根拠 3 :	第 3 次静岡市総合計画の平成34年度目標を参考に、目標値を設定 (数値確定が翌年度の10月頃となるため、H29実績については見込数を入力)					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
2,254 千人	2,023 千人	千人	千人	千人	千人	
43%	-29%					

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①:	東海道二峠六宿の文化遺産を活用したスマートフォン用のホームページ (モバイルアプリ) の作成による情報発信事業	実施団体:	東海道町民生活歴史館		
事業区分:	情報発信	事業期間:	平成 30 年度	～	平成 31 年度
事業概要:	<p>31年度は西の一峠三宿 (江尻、府中、丸子、宇津ノ谷峠) の史話をコンテンツとして整備してアプリに搭載する。</p> <p>30年度、史話を訪日外国人観光客向けに翻訳を進めていく中で、以下のような課題が浮き彫りになった。①訪日外国人でもわかるやさしい日本語で史話を構成する必要がある ②文化財や歴史のテクニカルタームを分かり易く伝える辞書が必要である ③日本の文化を理解し興味をもってもらうため、史話そのものも外国人に興味のある内容で選抜する必要がある。この課題解決のため、専門家など有識者による検討・調査委員会 (メンバー3名程度3回開催) にて史話の多言語化の方法の検討を行う。その結果を踏まえ、二峠六宿の全コンテンツを訪日外国人向けに作り直し、英語も含めて多言語化を実施する。</p>				
評価指標区分:	・アプリ等のダウンロード数			(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標:	ダウンロード数500件/年				
目標値:	【現状値】 平成 28 年度 0 件 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 800 件				
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
0 件	0 件	0 件	件	件	件
0%	0%	0%			
事業②:	東海道二峠六宿の文化遺産を活用した情報発信事業	実施団体:	静岡二峠六宿街道観光協議会		
事業区分:	情報発信	事業期間:	平成 29 年度	～	平成 32 年度
事業概要:	<p>それぞれの文化遺産をストーリーづけながらコンパクトに紹介する映像 (2 - 3分程度。①宿場の文化財、②宿場の魅力 (ストーリー)、③東海道ルート (前の宿場見付～対象宿場～次の見付) 等) を作成し、HPやYoutube、SNSなどで発信する。制作にあたっては学識経験者等で構成する検討委員会 (メンバー6人程度、2回) を発足し、表現手法も含め検討する。さらに各宿場で活動する方々から撮影や表現の意見交換を行う会議 (メンバー6人程度、2回) を開催する。また、宿場の文化遺産やストーリーを紹介するパンフレット (A5版8Pカラー) 制作、文化遺産の価値の見直しと認知度を高めるとともに、地域住民の理解を深めるためのイベント等に参加する。</p>				
評価指標区分:	・コンテンツダウンロード数 (掲載HPや動画共有サイトでの再生回数等)			(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標:	掲載ホームページやYoutubeにおける映像コンテンツのべ再生回数 (250回/年)				
目標値:	【現状値】 平成 28 年度 250 回 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 1,000 回				
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
250 回	189 回	500 回	回	回	回
0%	-8%	33%			

8(2) 実施事業の概要 別紙

事業③：	二峠六宿語り部ガイドの育成・実習					実施団体：	駿府ウェイブ				
事業区分：	人材育成					事業期間：	平成 27 年度 ～ 平成 32 年度				
事業概要：	<p>平成28年度は静岡、清水地区の既存のボランティアガイドのスキルアップ事業と位置づけ、座学を中心に、ふるさとに残る文化遺産についての専門的な知識の習得に努めるためスキルアップに必要な専門講師を招いての講演会（4回）の開催などを実施した。</p> <p>平成29年度も引き続き、ガイド個々の能力差を縮めるべく、宇津ノ谷峠研修、駿府96ヶ町町名碑研修等3回の現地研修を主体に実施した。</p> <p>平成30年度は、次代を担う若い年代のガイドを育成すべく、大学や専門学校などに参加を働きかけ、故郷に対する若者の関心を高める事業を進める。</p> <p>平成31年度は、前年度実施した講演会を7回、現地研修会を8回計画し、ガイドのスキルアップと、若者の関心を高める事業を進める。</p>										
評価指標区分：	・ボランティアガイド利用者数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	駿府ウェイブのガイド利用者（平成28年度実績見込を基準に5%増/年）										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 37,500 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 45,000 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
37,500 人	35,716 人	70,000 人	人	人	人						
0%	-24%	433%									
※平成27年度からの事業であるが、評価指標を平成29年度に見直しをしているため、「現状値」は平成28年度の数値である。											
事業④：	朝鮮通信使認知度アップ事業					実施団体：	NPO法人徳川みらい学会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 32 年度				
事業概要：	<p>今年度、朝鮮通信使がユネスコ世界記憶遺産に登録されたものの、その認知度はまだ低い状況にある。そのため、朝鮮通信使の認知度アップを図る事業に継続的に取り組むべく、出前講座やシンポジウムの開催、朝鮮通信使関連遺産の小冊子の製作等を通じて認知度の向上を図る。</p>										
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	朝鮮通信使興津保存会の会員数										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 35 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 150 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
35 人	100 人	人	人	人	人						
0%	57%										

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業⑤:	朝鮮通信使認知度アップウィーク事業	実施団体:	NPO法人徳川みらい学会			
事業区分:	普及啓発	事業期間:	平成 28 年度 ~ 平成 32 年度			
事業概要:	朝鮮通信使の扁額など文化遺産は、二峠六宿主に興津に一番残されている。この朝鮮通信使に関わる文化遺産を活用し、小学生から高齢者まで幅広い年齢層を対象として朝鮮通信使について学ぶ出前講座を中心に開催する。地域における朝鮮通信使の認知度の向上と、韓国との国際交流に寄与することを目的にする。久能山東照宮でのミニ朝鮮通信使行列、講座の開催、出前講座等を実施し、認知度アップに努めます。					
評価指標区分:	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:	地元NPO団体(NPO法人AYUドリーム)の会員数 (平成28年度の会員数を基準として5%増/年)					
目標値:	【現状値】 平成 28 年度 100 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 120 人					
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
100 人	人	人	人	人	人	
0%						
事業⑥:	鳶の細道てくてくトレッキング	実施団体:	NPO法人徳川みらい学会			
事業区分:	普及啓発	事業期間:	平成 28 年度 ~ 平成 32 年度			
事業概要:	スピードを競う大会ではなく、沿道の街並みや神社仏閣、石碑、お地藏様など、街道の文化を象徴する史跡等をポイントとして、参加者が楽しみながら歴史を理解出来るよう実施する。鳶の細道は中世から数多く短歌に詠まれた東海道の難所。					
評価指標区分:	・地域の文化遺産イベント等 (本事業の取組を除く) におけるソーシャルキャピタル数 (協賛企業・団体、賛同者等)			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:	NPO法人徳川みらい学会で開催する文化事業の協賛企業数 (増加目標… 3 社/年)					
目標値:	【現状値】 平成 29 年度 105 社 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 114 社					
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
社	105 社	105 社	社	社	社	
	0%	0%				

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業⑦：	「駿府九十六ヶ町」町名継承事業	実施団体：	NPO法人徳川みらい学会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 31 年度	～	平成 32 年度	
事業概要：	静岡市の旧府中宿には今川時代に礎がつくられ、徳川時代に整備された街並みが96か町ある。東海道沿いに広がる96か町は大御所・徳川家康の駿府在府と共に多くの人が集まり、17世紀にここを訪れた英国国王使節は「ロンドンより大きい」と書き残している。ロンドンの人口は当時、約6万人だったが、駿府は約17万人が住んでいたといわれている。家康によって行われた都市設計は、江戸の街割りに影響を与えたと言われている。近年、この町名が失われつつある中で、市民有志が2018年、「9月16日」を「96カ町の日」と定め、町名をしのぼせる様々な活動を続けている。33か所残されている町名碑の清掃や専門家の講演を計画した。					
評価指標区分：	・その他	（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標：	「9月16日」イベントの参加者数					
目標値：	【現状値】 平成 31 年度 66 社 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 100 社					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
社	社	社	66 社	社	社	
			0%			
事業⑧：	「弥次さん・喜多さん」ワクワク旅アプリの予備的検討	実施団体：	二峠六宿道旅推進実行委員会			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 27 年度	～	平成 27 年度	
事業概要：	単に個別有形、無形文化財の紹介や交通移動に留まらず、街道や家康公ゆかりの地を徒歩で巡るウォーキングの促進と史話、エピソードやGPSを駆使し、広重や北斎の浮世絵描写地（今昔）案内を古地図からのタイムスリップも加え、気軽にワクワク学ぶとともに、道先案内人として静岡生まれの十返舎一九の「弥次さん、喜多さん」としたシステム提供の事業可能性の検討。※学習ソフトとして現在実施されている静岡商工会議所の「家康公検定」や教材への活用。					
評価指標区分：	（リストから選択してください。）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：						
目標値：	【現状値】 平成 年度 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 (単位)					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業⑨ :	二峠六宿の街道エッセイPR誌 (シリーズ) のための編集企画会議の実施	実施団体 :	二峠六宿道旅推進実行委員会			
事業区分 :	情報発信	事業期間 :	平成 27 年度	～	平成 27 年度	
事業概要 :	二峠六宿の各有形、無形文化財や歴史、宿場町景観、記念館、見所、食べ処、交通アクセス、浮世絵描写地や周辺の家康公ゆかりの寺社仏閣等の紹介に留まらず、庶民目線 (弥次喜多) での史話、東海道膝栗毛今昔問答、昔小話等のエッセイシリーズを加え、二峠六宿の東海道街道文化だけでなく信州路への誘いと歴史秘話、旅文化にも踏み込む。					
評価指標区分 :	(リストから選択してください。)			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標 :						
目標値 :	【現状値】 平成	年度	(単位)	⇒	【目標値】 平成 32 年度 (単位)	
進捗状況 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	
事業⑩ :	二峠六宿ブランディング (マップ及び案内板設置)	実施団体 :	二峠六宿道旅推進実行委員会			
事業区分 :	情報発信	事業期間 :	平成 28 年度	～	平成 28 年度	
事業概要 :	H27年度事業において実施したモデルツアーアンケート (集計中) 結果からみて東海道53次の周知度は高いが、静岡市域内の二峠六宿の知名度は市内でも低い。静岡市 (行政) サイドで二峠六宿の環境と文化資産の点検と差別化戦略調査を平成27年度より実施しており、H28年度においても調査を予定している。当委員会としては、市のソフト調査に足並みを合わせ、緊急に対応すべき対象として、各宿場、及び、二峠六宿のネームプレート板や案内誘導サイン、及び、浮世絵描写地位置サインの設置を実施するとともに、江戸期の旅人の必需品であった案内紹介地図を二峠六宿の絵物語としてアコーディオン方式の地図として製作し、観光客に提供する。					
評価指標区分 :	(リストから選択してください。)			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標 :						
目標値 :	【現状値】 平成	年度	(単位)	⇒	【目標値】 平成 32 年度 (単位)	
進捗状況 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業⑩:	街道文化を学び継承するシンポジウムの開催	実施団体:	二峠六宿道旅推進実行委員会		
事業区分:	普及啓発	事業期間:	平成 27 年度 ~ 平成 27 年度		
事業概要:	三部構成として徳川みらい学会に所属する徳川家や家臣団の宝物及び由比の記念館の東海道53次浮世絵、十返舎一九の「東海道膝栗毛」等の公開を踏まえ、大御所「家康公」の遺徳を偲ぶ数々の功績や街道文化から読み解く江戸期の浮世絵や庶民文化をストーリー化し、シンポジウム形式で学び次世代に引き継ぐシンポジウムを開催。なお、このシンポジウムでは、今では埋没しつつある浮世絵の版画技術や保存方法及びスペインから贈呈された世界最古の時計の保存、修復方法も公開する。				
評価指標区分:	(リストから選択してください。)		(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:					
目標値:	【現状値】 平成 年度 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 (単位)				
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)
事業⑪:	静岡浅間神社廿日会祭に係る山車の修理と公開	実施団体:	二峠六宿道旅推進実行委員会		
事業区分:	継承	事業期間:	平成 27 年度 ~ 平成 27 年度		
事業概要:	当行事は、古くは戦国時代の記録がみられ、大御所「家康公」時代に旧儀を復興し現在に至る伝統ある行事であり、その祭りになくてはならないとされるのが本申請の「山車」である。平成27年度では、家康公四百年記念事業として山車の展示と巡行を予定。なお、祭りサポーターの育成については市の自主財源。祭事予定は平成27年10月2日～4日。				
評価指標区分:	(リストから選択してください。)		(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:					
目標値:	【現状値】 平成 年度 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 (単位)				
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業⑬:	浮世絵刷工芸講座開催と街道文化を考える車座 タウンミーティング	実施団体:	二峠六宿道旅推進実行委員会		
事業区分:	継承	事業期間:	平成 28 年度 ~ 平成 28 年度		
事業概要:	広重の描く「丸子の丁子屋」の隣の古民家が現在空き家となっており、その利活用が求められている。東海道53次街道ツーリズムの促進ツールとして広重、北斎の描く旅への組み立てを考え、浮世絵の「描く、刻む、刷る」の内、比較的観光客が体験しやすい浮世絵刷りの工芸講座を開催する。対象者は、継承の視点から伝承スキルとして、静岡市内から幅広く募集する。並行して、浮世絵から江戸期庶民文化を識り、和文化を考える「車座タウンミーティング」を同施設にて開催する。本委員会と丸子まちづくり協議会で共同で実施する。				
評価指標区分:	(リストから選択してください。)		(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:					
目標値:	【現状値】 平成 年度 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 (単位)				
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)
事業⑭:	霊山寺関連歴史資料の調査と公開	実施団体:	二峠六宿道旅推進実行委員会		
事業区分:	調査研究	事業期間:	平成 27 年度 ~ 平成 27 年度		
事業概要:	今までの古文書、伝承記録を収集し、小冊子として取りまとめるとともに、必要に応じ、現地調査を行い、個別文化財の保存修復活動を実施し、保存・継承の方策を検討する。				
評価指標区分:	(リストから選択してください。)		(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:					
目標値:	【現状値】 平成 年度 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 (単位)				
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)

